

# 環境教育

# 体験活動

平成 15 年 7 月 23 日 (水) 実施

講座コード 230

アアカルトコード 02011

## 第2回報告

身近な自然に気付き！親しむ！  
環境教育「春夏秋冬」体験活動（講座コード230）の2回目の講座が7月23日（水）にぐんま昆虫の森（勢多郡新里村大字鶴ヶ谷）で行われました。講座参加者は26名（校種：小学校13名、中学校3名、高等学校5名、特殊教育諸学校5名）でした。

午前中は「簡単に誰でもできる！夏の身近な自然観察と調査」が行われました。人数が多かったため、2領域に別れて行いました。植物領域は須永 智指導主事（ぐんま昆虫の森建設室）、昆虫領域は筒井 学主任（同）に講師をお願いし、きめ細やかなご指導をいただきました。専門の領域を分かりやすくご説明いただき、受講生にも大変好評でした。

午後は、担当指導主事川島より、ネイチャーゲームについて講義を行いました。その後太田市立鳥の郷小学校服部順子教諭、前橋市立第三中学校多賀谷雅之教諭を講師に体験活動「自然体験活動とネイチャーゲームの活用」を行いました。当日のアクティビティは、前回の4アクティビティのほかに「音いくつ」、「サウンドマップ」、「私の木」を行いました。



植物の領域（須永講師）



昆虫の領域（筒井講師）

上：複葉についての説明  
下：複葉の分類

上：ナナフシの観察  
下：蝶の幼虫の観察

## ネイチャーゲームの様子と受講者の声



上：私はだれでしょう  
背中に付けられた動物  
の名前を当てる。  
中央：サウンドマップ  
聞こえてくる音を形に  
して地図に描く。  
下：目かくしトレイル  
目かくししながら一本  
のヒモを頼りに歩く。



上：カモフラージュ  
自然物の中に隠された  
人工物を見つける。



下：私の木  
森の中で紹介された木  
を1本見つけ、再会す  
る。



- 久々に五感に触れる体験ができて、大変有意義でした。特に、ネイチャーゲームは特に準備をしなくてもフルに、自分の感覚を研ぎすませ、取り組むことができました。あいにくの天気でしたが、雨の日ならではの音やにおいを感じることができました。
- 今日も期待通りに楽しかった。ネイチャーゲームも2度経験したが、新たな視点で見ることができて勉強になりました。(目かくしで連れていく時に声をかけたりとか)。環境について総合的な学習の時間で取り組む時のきっかけにもなりそうだった。だれが悪いわけでもないのですが、雨でちょっと残念でした。
- 病弱養護学校でもカモフラージュや私はだれでしょうなど、実際に使えるようなネイチャーゲー

- ムがあり、自然に近づく別の方法を学んだ気がした。ふだん山登りを趣味として自然につかっているけれど、別の視点が持てた。
- 残念ながら天気に恵まれなかったが、雨の日なりの楽しみ方を味わうことができました。自然観察は、図鑑を持ってくればより楽しめたと思うので、次の機会には用意したいと思いました。
- 私の職場は高校なので、直接授業・HRなどに使うことはできませんが、心身ともにリフレッシュできたと思います。
- 普段いかに目に頼って生活しているか、感覚や触覚などの感覚など磨く手法としてネイチャーゲームは有効だと思いました。子どもはこういうゲームが本当に好きだと思います。楽しみながら自然を気づかせることができるのですね。